

# 札幌創価幼稚園評価公表シート

平成29年8月1日

## 1、本園の教育目標

創価教育の理念のもと、「園児第一」を心に刻み、「つよく たくしく のびのびと」をモットーに掲げ、明るく丈夫な太陽の子(勇気)、よく考えて行動する太陽の子(智慧)、仲良く遊ぶ太陽の子(慈愛)の育成を教育目標とする。  
教育方針は、以下の5項目。1)心身ともに健康に育つなかで基本的生活習慣を身につける。2)一人一人の個性を大切に、人間性豊かな創造力を育てる。3)正しいことは勇気をもってやりぬく実行力を育てる。4)思いやりをもってだれとでもなかよく遊べるよう育てる。5)未来社会に貢献する人格の形成をめざす。

## 2、2016年度重点的に取り組んだ目標・計画

教育課程の基本理念を「世界市民として未来社会に貢献する人格の形成を目指す」と確認して出発。研修と教員間の連携に務め、慈愛溢れる園児とのかかわりに専心し、質の高い保育を実践する。更に開園45年を目指してのビジョンを作成していく。具体的には、次の6点を本年度の重点とする。

- 1) 創立精神を心に刻む幼児教育の実践
- 2) 世界に開かれた心を育む幼児教育の実践
- 3) 豊かな人格の基礎を育む学級経営・園運営の実践
- 4) 園児の安全を守る教育・施設設備の充実
- 5) 3年保育初年度として実践的財産の共有、研修機会の充実
- 6) 家庭との連携・育児支援・卒園生支援・広報活動の充実

## 3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
1) 創立精神を心に刻む幼児教育の実践	・創立者のメッセージを学習し、学年に応じ年間テーマを設定、具体化を模索し合い実践。月・週目標を園児の実態に合わせて設定し、着実な実践がなされた。オベレッタや創立者著作の童話や学園3大行事記念週間の取り組み、創大生交流等を通し園児の心に「つよく たくしく のびのびと」との姿勢が育成された。
2) 世界に開かれた心を育む幼児教育の実践	・海外姉妹園とのカード交流と共に、学年に応じた内容のグローバルタイム(なかよしカード、世界パスポート、ピースカード)を実施し世界に触れる機会を日常的に取り入れた。また、園児に親しみやすい食育キャラクターを登場させて食育を実施。年長については畑の土作り(小石取り)体験と観察日記を開始した。また、高齢者施設への訪問交流等を行った。室内砂「まほうのすな」遊びの充実を図りたい。
3) 豊かな人格の基礎を育む学級経営・園運営の実践	・園児の作品や園・学級目標・月間の取り組みを分かりやすく掲示。日案を軸とした個人記録と教員間の連携により園児理解を推進した。個別支援の必要な園児への関わりの研修を区幼児教育支援員を迎えて充実させた。年少は正副担任体制で安全面を重視したが目の届かない場面も残る。課題と対応策を継続的に研修したい。
4) 園児の安全を守る教育・施設設備の充実	・交通安全・防犯・バス乗車教室の充実させ、月例で着実な避難訓練を実施。避難グッズの各級配置、冬季避難経路・通園路の安全保守等、安全環境の拡充に努めた。れんらくアプリの利便性向上により保護者との双方向連携機能が向上した。嘔吐処理マニュアルを作成し、園児にも対応の意味を理解させ定着が進んだ。園庭遊具の専門業者による点検を実施し3歳児にも対応出来る補改修が進んだ。
5) 3年保育初年度としての実践的財産の共有、研修機会の充実	・年少級に絞り研究保育を展開。他園にも年少級を軸に参観研修を。教務主任・学年連絡会を軸に各学年団が新生活時間帯と教育課程、行事体制案を検証した。絵本を軸とし心の育成を推進。発達支援への園内外での研修、若手教員研修を充実させた。年長級の保育内容に時間不足が続く。内容精選を検討する。
6) 家庭との連携・育児支援・卒園生支援・広報活動の充実	・保育参観等の来園行事を通じて教育方針への理解を深められた。特に第3回教育講座ではおはなし会円乗攝子氏を講師に、また卒園生大会では関西学園教員を講師に迎え保護者・卒園生に豊かな啓発の機会となった。保育全般に関する保護者アンケートを全保護者に、新入園保護者には入園前意識調査も実施し、ニーズ掌握と対応に取り組めた。卒園生支援では、萩の会との連携を充実させ、情報集約の態勢が整った。園長による市内広報活動(子育てセミナー)を開始。ひつじっこクラブの時間延長が好評。

#### 4. 幼稚園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

豊かな心を育み、子どもの心に寄り添う保育が、全教職員の協同的実践で、きめ細やかに推進された1年間であった。初の3歳児保育、3学年の螺旋的保育内容の実践へ、学級・学年・行事・園運営の各処で知恵を出し合いながら、PDCAの繰り返しともなった。今回掴めた3年保育と共通時間帯での諸課題を総括・協議し、より充実へと試行錯誤し、一つ一つ大きく実らせるのが次年度となる。「世界市民として未来社会に貢献する人格の形成を目指す」取組みをより具体的に推進していきたい。

また、ニーズを掌握すべく実施した保護者アンケート(3年目)を基に、取り組める改革を絞り込み検討・推進していきたい。更に、教職員の資質の向上を期すと共に、健康・安全・安心面の職場環境向上に努めていきたい。

#### 5. 今後の取り組むべき課題

課題・目標	
創価教育における3年保育・異年齢保育の推進	・16年度実践して掴めた諸課題を基に行事の見直しを軸として教育課程を螺旋的に豊かに組み上げ、同年齢・異年齢の繋がりを大切に幼児期の育ちを試行錯誤し検証していく2年目とする。3歳児に相応しい視聴覚教材の作成を開始したい。4歳児では進級児と新入園児の混在する年中を意識した保育の充実を推進する。
共通時間帯に即した教育内容充実と精選の推進	・共通時間帯1年目の諸実践をもとに、新教育要領を視野におき、教育課程の修正・検証を推進する。「なかよしタイム」は、制作や行事練習のきめ細やかな取り組み、学級横断や異年齢保育の双方をバランス良く実施したい。その際、教員配置を含め環境設定や安全施策を積み上げていく。また、運動会・未来っ子祭りの内容の吟味検討も進める。
食育の推進・子育て支援・広報の充実	・給食週2回実施2年目へ「太陽の子だより」を軸に残飯を減らす工夫等、家庭と連携し園児に響く食育を展開する。また、ミニランチのあり方を再吟味する。本園の良さを伝えるインパクトある広報戦略、地域友好活動に努める。魅力ある教育講座の開催と共に、出張「子育てセミナー」の実施、HPやパンフの充実を図る。また、子育て相談、年間30回に拡充する就園前教室の充実を図る。
園児の安全守る施設設備・態勢の充実	・園児の安全・健康管理、諸感染症対応施策、災害時の緊急対応態勢の充実を図る。特に3歳児に適応した諸施設の充実、安全度増加に具体的に取り組む。また、教職員研修を軸に不審者対応等の危機管理態勢の充実を進める。給食週2日制に伴いアレルギー児への対応策を強化する。また、将来の園舎建て替えへ具体的な施設設備・園庭使用を継続検討する。
個別支援教育の研鑽と態勢の充実	・園外研修へ多くの教員を派遣すると共に、訪問幼児教育支援員との看取り研修を充実させ、具体事例の中で関わり方のスキルアップを図る。園内でも継続的な研修機会を設定する。面談や教育講座により保護者理解を図り、就学先や支援機関との連動(懇談や訪問観察)を推進する。

#### 6. 学校関係者評価〔宝珠会(地域支援する会)役員、愛園会(保護者会)役員、創陽会(卒園生)役員等の皆様〕

特に指摘する事項もなく、適切であると認められる。豊かな心の育成、3年保育、就園前教室・預かり保育の更なる充実への期待が寄せられた。

#### 7. 財務状況

5月度 評議員会・理事会により、適切であると認められる。

#### 8. 第三者評価〔弁護士、幼児教育専攻大学教員、公立小学校管理職、中学校教員、地域民生児童委員の皆様〕

特に指摘する事項もなく、適切であると認められる。子ども達に寄り添う人間性豊かな幼児教育や3年保育への取組みの一層の充実、子育て支援・幼小連携へ更なる期待が寄せられた。